

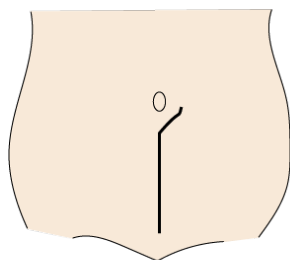
子宮筋腫・子宮腺筋症の 子宮全摘術

【聖路加国際病院ロボット手術センター】

<子宮筋腫・子宮腺筋症の手術方法>

01. 開腹手術

従来の標準的な治療
です



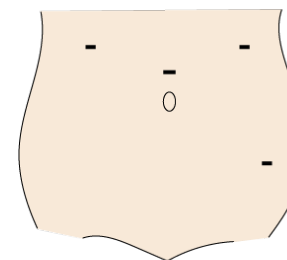
開腹手術での傷

02. 腹腔鏡手術

低侵襲※で傷が小さく体への負担が少ないですが、癒着が強かったり、子宮がかなり大きい場合は技術的に難しい手術です

03. ロボット支援手術

腹腔鏡手術の良さに加え、**傷が小さく痛みが少ない手術**です

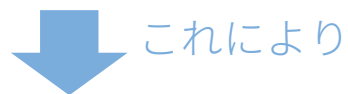


ロボット支援手術での傷

※低侵襲…手術・検査に伴う痛み・出血などをできるだけ少なくすること

<ロボット支援手術のメリット>

ロボット支援手術は、拡大した3次元ハイビジョン画像で術部が良く見えるため、**より正確で安全な手術が可能**となります



メリット 開腹手術に比べても
01 小さな傷になり、痛みが
少ない手術です

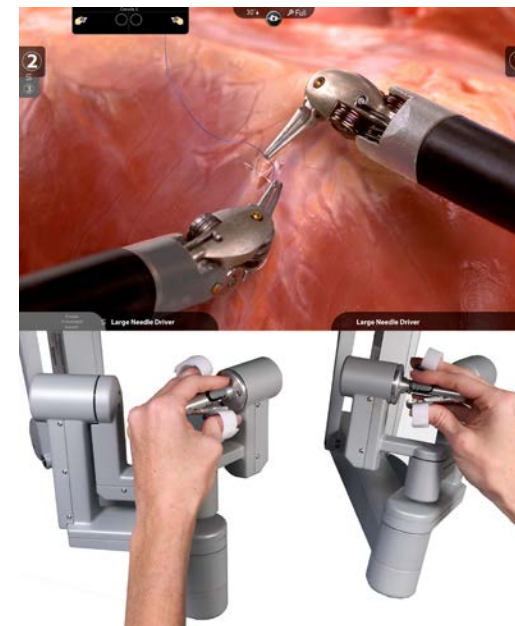
メリット 従来の腹腔鏡手術より
02 も、容易で安全な手術
が可能です

メリット 鉗子の動きの自由度が
03 高く、より開腹手術に
近い縫合が可能になります

※腹腔鏡手術に比べて鉗子の動きの自由度が高く、腹腔鏡で手術が困難な子宮でも手術が可能な場合があります。

<ロボット支援手術とは>

腹腔鏡手術をさらに発展させた手術方式です。
高解像度3Dカメラ画像を見ながら、微細な動きを実現できるロボットアームを操り、
より安全で体への負担が少ない手術を行えます。



<ロボット子宮全摘術の術後経過例>

入院期間：6日間

1日目	手術前日	入院	
2日目	手術当日	手術	絶飲食
3日目	手術翌日		歩行、食事再開
4日目			
5日目			
6日目	術後4日目	退院	